

第9回

# 日仏ロボット デザイン大賞

募集のテーマ

## 人間と一緒に何かをするだけのロボット

どんなロボットと何を一緒にしてみたいか、  
使用シーンを想像しながら自由に考えてみよう！

### 募集要項

小学生～大学院生まで対象

#### ① 作品

絵の場合には、A3 サイズ（297×420mm）以下の画用紙に、好きな画材で自由に描いてください。パソコンなどで描いたデジタル作品はプリントアウトしてください。

立体作品の場合、持ち運び出来ればサイズは問いません。好きな素材で自由に作ってください。作品本体の他に、A3 サイズ（297×420mm）以下の用紙に写真数枚を貼り付けたものを同封してください。

#### ② 説明資料

別紙または作品の裏面に、ロボットの名前、特長を200字以内で記入して下さい。末尾に応募者氏名・年齢・学校名・学年・住所・電話番号も記入して下さい。

①、②を受付期間内に裏面応募先住所まで郵送して下さい。

グループでの応募も可能です。

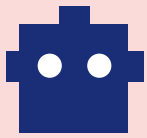
### 審査委員長

ロボットクリエイター 高橋智隆氏

代表作にロボット電話「ロボホン」、ロボット宇宙飛行士「キロボ」、デアゴスティーニ「週刊ロビ」、グランドキャニオン登頂「エボルタ」など。ロボカップ世界大会5年連続優勝。米TIME誌「2004年の発明」、ポピュラーサイエンス誌「未来を変える33人」に選定。開発したロボットによる3つのギネス世界記録を保持。

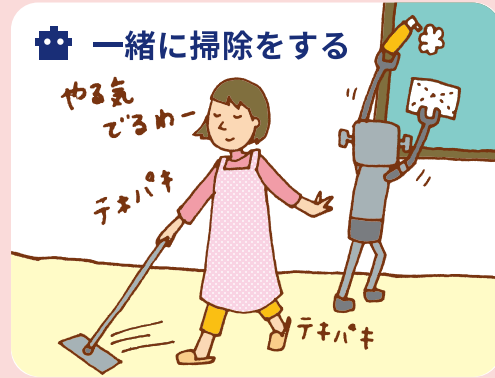
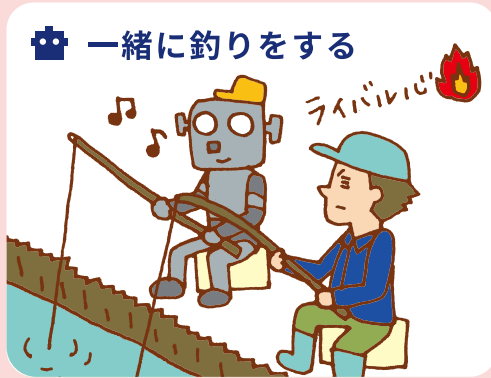
(株)ロボ・ガレージ代表取締役、東京大学先端研特任准教授、大阪電気通信大学客員教授、グローブライト(株)社外取締役、ヒューマンアカデミーロボット教室顧問。





# こんなことをヒントに ロボットをデザインしてみよう！

どんな時に一緒にいる？



このロボットデザイン大賞は、日仏の芸術交流を深めるとともに、  
子供たちの創造性を育む機会を提供することを目的に開催しています。  
今回は「人間と一緒に何かをするだけのロボット」をテーマに自分たちの環境や  
日本とフランスの文化の違いを知る良い機会なのではないかと思ます。

応募受付時間：2019年4月1日から2019年10月15日まで

入賞者発表：2019年12月上旬（当協会ホームページにて発表）日仏芸術文化協会 HP <http://www.jfnet.org/>

審査委員長：高橋智隆（株式会社ロボ・ガレージ代表取締役）

審査委員：近藤玄大（NPO 法人 Mission ARM Japan 理事）、小西哲哉（exill 株式会社 CCO・デザイナー）、松村礼央（株式会社 karakuri products 代表取締役、第一回日仏ロボットデザイン大賞大賞受賞）

賞：小・中学生は賞状授与とステキな商品／高校生～大学院生は賞状授与と学業支援金5万円

作品展：未定。決定次第発表いたします。

## 〈注意事項〉

- ・応募作品の著作権ならびに管理権は主催者である日仏芸術文化協会に帰属します。
- ・応募作品は未発表のものに限ります。
- ・頂いた個人情報は、日仏ロボットデザイン大賞以外の用途に使用致しません。
- ・応募作品の返却は致しません。

お問い合わせ：TEL/FAX：03-3723-7665 E-mail：art@jfnet.org（担当：谷口）

応募先住所：〒152-0031 東京都目黒区中根 2-19-2

特定非営利活動法人 日仏芸術文化協会 第九回日仏ロボットデザイン大賞係

主催：特定非営利活動法人 日仏芸術文化協会

後援：文部科学省、経済産業省、農林水産省、外務省、目黒区教育委員会、在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本

協賛：ヒューマンアカデミー株式会社

